

国交 元年

一九二九(昭四)年のでぎび(と)

一月

◆カナダ、米国とナイアガラ瀑布保護協定を結ぶ(二日)。

三月

◆衆議院で治安維持法改正緊急勅令承諾案を可決(五日)。

◆治安維持法に反対した旧労働党代議士山本宣治が刺殺された(五日)。山本は十九才のときカナダへ渡り、アルバイトをしながら勉強している。

四月

◆日本共産党員が大量検挙された(十六日)。

五月

◆カナダ国有鉄道(C.N.R.)、列車との双向電話を開設(五日)。

米国を凌ぐカナダ麦の進出

世界の小麦中心は漸次カナダへ移る

◆本邦製粉業の発達につれ、外国小麦の本邦に輸入せられるもの年々増加し、昭和三年の輸入総額六千七百万円に達する

に至ったが、アメリカ小麦を輸入小麦の大宗とし、カナダ小麦を従とせる従来の傾向一変し、最近ではカナダ小麦が主位に立ち、アメリカ小麦はその半を占むることとなった。即ち左の如くである(単位ピクル)。

カナダ 米 国

大正十三年 二、一九四 四、五六六

十四年 一、五一三 二、八三九

昭和 元年 四、一七七 三、二五七

二年 二、八七九 二、六〇八

三年 五、五九一 二、四五四

即ちこの五年間に主客全く転倒せるが、カナダ小麦の優位は一時的の現象にあらざるもの如く、本年以後においては、益々、米、加小麦輸入量の開きは拡大するものと見られているが、その原因は大様左の如くである。

(一)アメリカは今後最大収穫を挙げても

尚九億アッシュエルを出せず、内地消費

を六億五千とすれば、輸出能力は二億

四、五千アッシュエルにすぎざるに反し、

カナダ小麦は昨年度において五億三千

万アッシュエルの生産あり、一億程度を

消費にあつれば、四億以上の輸出能力

あるため、世界的にもその重要性を増

進しつゝあること、

(二)アメリカ小麦は漸く行詰り、生産費の如き、一アッシュエル一ドル二十四セント乃至二十八セントなるに對し、カナダ小麦は発達の余地多く、生産費は八十九セント乃至九十五セントにして、その間三十セントの開きあること。

もちろんカナダ小麦とアメリカ物は、

硬軟その質を異にし、用途もいささか差があるが、最近では欧州方面も技術的にカナダ物を需要するに至ったので、カナダがアメリカに代つて小麦の中心とならんとする傾向は、世界的なものとならざらざらシカゴ取引所に代つてカナダ、ウイニペグ取引所の地位も漸次向上せる如くである。従つて米国は販路奪回のため、我国にも農務局委員等を派遣しつゝあるが、回復困難なるべく我が製粉業者は今や原料小麦の輸入については、バンクーバーの現物市場相場、およびこれが直後にあるウイニペグ取引所を重要視するに至つた。(朝日新聞五月十五日)

カナダ公使館開設準備に

レイサイド氏けさ着任

◆【横浜電話】新設カナダ公使館開設準備のため一等書記ヒュー・ギーン・レイサイド氏(ヒュー・キーンリーサイドの

誤り)は、秘書アグネス・ベアード嬢と共に、二十日午前七時、バンクーバーから横浜入港のエンプレス・オブ・フランス号で来朝した。氏は語る。

カナダが公使を交換しているのは、今の所、千九百二十六年に設けた隣のアメリカと、千九百二十八年に設けた

在留民二百方を有するフランスだけでしたが、今度東洋における我々の親密な隣国日本とも公使を交換することが出来るのは、兩國のため誠に喜ばしい事です。公使ハーバート・エム・マレー(五十)氏は自由党に属し、現に代議士であり、知事を勤めたこともある人で、九月八日横浜着で着任の予定になっています。目下公使館をどこに置くかについては決定していません。当分帝国ホテルで事務を取る予定です。(朝日新聞五月二十一日)

日加の新関係

◆カナダ公使館一等書記官ギーンレイサイド氏は来任した。吾人は、ここに我国におけるカナダ最初の外交官を迎へて、公使館開設がいよいよ近づいたことを、喜ばねばならない。カナダはイギリスの自治属領の一では